

式辞

日一日と温かさが増し、春の訪れが感じられる今日の良き日に、PTA会長 細川隆一郎様を始め、PTA役員の方々、また保護者の皆様のご列席のもと、第17回卒業証書授与式を挙行できますことに、心より感謝とお礼を申し上げます。

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。今、お渡しした卒業証書には、「錦丘6年の前半である中学校の課程を修了した」と同時に、「9年間の義務教育を終えた」ことを認める、という大きな意味が刻み込まれています。皆さん自身の日々の努力によりこの卒業証書を手にする事ができたのですが、それを支えてくれたご家族の方々の深い愛情があったことを忘れないでください。

皆さんは、小学校6年生の時に、自分の進路について大きな選択を行い、中高一貫教育校である本校に入学しました。この3年間は、新型コロナウイルス感染症の拡大という、通常予想しないような事が起こりました。皆さんは、感染症の拡大を防ぐため、入学と同時に二ヶ月間の臨時休校がありました。その後、学校生活が再開されたものの、行動に制限があったり、行事や部活動の大会が中止になったり困難が多かったと思います。しかし、皆さんは、持ち前の創造力、行動力で学校生活を明るく活気あるものにし、部活動や校外活動、コンクールなどで活躍しました。

特に、社会が必要とする課題に対し、生徒会で行動を起こしました。例えば、バスマナーの向上と安全安心の学校づくりです。本校は、バス通学生が多い学校です。感染症拡大防止のため、密室になりがちな車内や待ち時間の行動は非常に大切でした。生徒総会を招集し、具体的な行動を話し合い、1年間実行しました。最近では、乗客から、高校生を含め錦丘生の乗車マナーは大変よいとの声を聞いています。また、近年、多くの災害・被害が起きています。いざというとき自らの判断で行動を起こす自助が求められています。つい先日もJアラート対応訓練を行いました。後輩にも引き継がれる立派な行動だったと思います。

さて、今日は、そんな皆さんが新たなステージに立つ日でもあります。そこで、私から卒業する皆さんに心に留めておいてほしい話をします。

皆さんは、”Think globally Act locally”という言葉聞いたことがあると思います。環境省のWebには「地域の環境と地球環境とは密接な関係を有しており、地球規模で考え、地域で行動することが大切であると示されています。このことを3年生の卒業研究で十分に学んだことでしょう。

ところで、私は、この言葉は環境問題に限らないと考えます。1年前にウクライナとロシアの戦争が起こりました。現在も悲惨な状況が続いています。現場はここから遠く離れているかもしれませんが、安全、人道、経済等の影響が世界中に広がっています。”Think globally Act locally”は環境に限らず、あらゆる視点で世界規模、宇宙規模で考え、身近なところで行動できる人になって欲しいという願いなのです。そして、このことは、私たちのスローガン「Find Your Max」と中高共通の校訓「弘毅篤学」につながり、最高の自分を見つけようとする強い意志を持ち、慌てず、しかし、熱心に学びに取り組む皆さんのあるべき姿なのです。がんばってください。

結びになりますが、保護者の皆様には、卒業生の成長への御協力や、本校教育に対する御理解と御支援に、重ねて感謝を申し上げますとともに、お子様の御卒業を心からお祝い申し上げます。卒業生のみなさんが、校歌にもある「胸に希望を持ち」、本校で身につけた力を自らの強みとし、夢と共に、健康で幸せな人生を歩んでいかれることをお祈りして、式辞といたします。

令和五年三月十六日

石川県立金沢錦丘中学校 校長 嶋 耕二